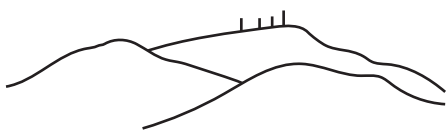


Youth Manna

2020/1/13 - 1/19



マルコ 1:35

さて、イエスは朝早く、まだ暗いうちに起きて寂しいところに出かけて行き、そこで祈っておられた。

2020/1/13(月)

エペソ 5:21-33

この箇所は、クリスチャンの家族が、神の家族(教会)の中でどのように生活すべきかを説明しています。ここでパウロが言おうとしているのは、それぞれ自分の責任を果たすべきということです。夫は妻を導き愛すべきであり、妻は夫に従い尊敬すべきです。これは、イエス様をご自身の民に対して計画をもっておられるからです。その中心が、家族の家族である教会です。そこには神様の秩序があるんだね!

みんなが思い描いている夫婦の関係と、イエス様のご計画にある夫婦の姿は一致しているでしょうか? みんなにとって結婚は将来のことだけど、今の内から、神様のみことばに沿った結婚観を身につけて行こう!

2020/1/14(火)

エペソ 6:1-9

1-3節には、主にあって両親を敬い、従いなさいと書かれている。両親が正しいから従うのだろうか。そうではなく、これは神様の戒めであり、正しいことだから従うべきだとされている。また、それをするによって祝福を受けることも約束されている(3)。

5節からは、主人に仕えるときのあるべき姿が書かれている。私たちは地上の主人に対して、主に仕えるように仕えるべきなのである。また、ここでも良いことへの主の報いが約束されている(8)。

あなたの権威への態度はどのようなものだろうか。主が立てられた権威であり、それに従うとき、私たちは祝福を受けることを覚えていよう。

2020/1/15(水)

エペソ 6:10-24

「悪魔の策略に対して堅く立つことができるように、神のすべての武具を身に着けなさい」、有名な箇所ですね。パウロは、しっかりと立つことがどんなに大切であるかを意識していました。私たちは弱い者です。しかし、全能の主の力を受け続けることによって強められ、立つことができます。また、主の福音が多くの人々の心に届かないように阻止しようとする、目に見えない霊的な働きに立ち向かうこともできます。それは、みことばと祈りが、強力な神様の武具として私たちに与えられているからです。

祈ろう! 私たちは神様の恵みによって堅く立つことができます。感謝します。みことばと祈りによってますます強めてください。

2020/1/16(木)

レビ記 1章

レビ記で記されている当時は全焼のいけにえを通して神に近く必要があった。そこで1章では、まず「全焼のささげものの規定が語られる。ささげ物は、その経済状況によって異なっていたが、いずれにせよ、全く傷のないものでなければならなかった。このささげ物は、祭壇の上で、それらを全て焼き尽くし煙にするのが特徴であった。さらに、そのささげものをするにも手順があった。

しかし、今はイエスさまの十字架がある。イエスさまの十字架は、私たちの罪の赦しのための身代わりの死であり、それによって私たちも神に裁かれた。神の愛を覚え、感謝しよう!

2020/1/17(金)

レビ記 2章

主への捧げ物にはいくつかの決まりがあり、今日の箇所に「しななければならない」、「しなさい」などという言葉が何度か使われています。一つ一つに意味があり、それを守って従う事で神様に心を捧げている事を表しています。ここで言うような捧げ物を私達は同じように捧げてはいないけれど、捧げ物をする時に、心にある従う姿勢は今も同じように必要な事です。

日々自分が神様に捧げているものはどんなものですか? 時間やお金などありますが、その心はどうだろうか? 相応しい心を神様に捧げますと祈ろう!

2020/1/18(土)

レビ記 3章

今日のささげものでは、内臓や脂肪を捧げることについてかいてある。罪によって壁があった神様との関係が、この交わりはいけにえによって回復されたんだ。そのためには血を振りかけることが必要だって書いてあるね。それは、神様に近づくにはいのちが必要だからなんだ。

私たちが今いけにえを実際に用意することはないのは、イエス様がいのちを差し出してくださったから。だから今の神様との関係があるんだ。脂肪は当時「一番いいもの」として神様に捧げられた。内臓をささげるのは「心から」捧げる意味が込められているよ。私たちの一番いいものを心からささげて礼拝しよう! 明日の礼拝のために、自分ができる一番いいものは何かな? 献金、起きる時間、賛美や話を聞く態度... 考えて用意してみよう!

2020/1/19(日)

レビ記 4:1-21

今日も昨日に引き続きいけにえのお話です。でも今日は昨日とは異なり、主題が罪に変わります。罪のきよめは事務的なものとなってはならず、「罪は誰でも犯すものだ」とか「ささげるから良いのでは」などと開き直ってはいけないものでした。

そこで私たちは罪に対してどのように考えているでしょうか? 人を殺したり、お金を盗ったりすることはこの世の法律によって裁かれるものです。ですが、私たちが友人をいじめたり、蔑んだりすることはどうでしょうか? それは世の法律では裁かれることは少ないですが、神様はそれを知っていて裁かれる方です。罪を悔い改め、再び同じ罪を犯さないように神様の足跡を追って生きましょう!